



軽井沢スノーパーク

**KARUIZAWA  
SNOW PARK**

安全報告書

《第1, 2, 3ペアリフト》



令和6年度版



## 索道事業に関する安全報告について

日頃より軽井沢スノーパークならびに当施設の索道事業をご利用いただき、誠にありがとうございます。

皆さまのご理解とご協力のもと、当施設は「安全の確保」を運営理念の第一に掲げ、法令を遵守しながら、安全な輸送の提供に努めています。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保に向けた私たちの取り組みやその現状を振り返り、皆さまに広くご理解いただくことを目的として公表するものです。

今後もより安全で快適なサービスを提供するために、皆さまからのご意見を大切にしてまいります。ぜひ、率直なご意見・ご感想をお寄せいただけますと幸いです。

鹿島軽井沢リゾート株式会社  
代表取締役社長 金井 元

## 基本方針と安全目標

### 1. 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下、全従業員に周知、徹底しております。

- ①一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程を理解し、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に務め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱をします。
- ⑤事故、災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全と思われる処置を行います。
- ⑥必要な情報は漏れなく、迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。



## 2. 安全目標

令和 7 年度索道安全目標は次表の通りです。今年度も目標達成に向けて取り組む所存です。

### 《定量的な目標》

設備不具合による事故：乗客の死亡を伴う事故を発生させない。

人身事故：5 年間の発生件数を 1 件以下とする。

## 3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

### (1) 索道運転事故（索道人身傷害事故）

過去 20 年間の事故発生 0 件

引き続き事故等の発生 0 件を目指します。

### (2) 災害（地震や暴風雨、豪雪等）

令和 6 年度まで、人身、災害による運行停止はありません。

尚、天災により下記、運行を停止しました。

強風・大雪による運休	平成 20 年 2 月 24 日	1 日間
	平成 26 年 2 月 15 日～20 日	6 日間
計画停電(震災)による運休	平成 23 年 3 月 15 日～18 日	計 9 日間
	平成 23 年 3 月 21 日～25 日	

## 4. 輸送の安全確保の為の取組み

### (1) 人材教育

当社では、輸送や皆様の安全に役立つよう、シーズン営業開始前に施設及び取扱いについての安全教育を実施しています。



## 令和 6 年度 教育訓練実施報告

実施時期	対象者	教育・訓練項目	内容	実施者
令和6年6月20日～6月21日	小林昌弘 黒岩昭彦	索道技術管理員等講習会	索道事業関係法令及び保技術の習得	関東鋼索交通協会
令和6年9月19日～9月20日	小林昌弘 黒岩昭彦	索道技術管理者研修会	索道施設の保守管理方法 (制御・保安編) 令和5年度索道運転事等概要 索道施設の変更に係る手続き	関東運輸局
令和6年12月13日	関係従業員	緊急事対応救助訓練	1. 救助訓練 旅客の取扱いの基本	索道技術管理者
	索道係員	緊急事対応訓練	1. 予備原動操作要領	索道技術管理員

### (2) 安全の為の投資と支出

安全の維持、向上の為の整備については、万全を期しています。

平成 25 年度： 第 2 ペアリフトの原動機（電動機）のオーバーホールを実施

平成 26 年度： 第 1 ペアリフトの油圧緊張装置一式とブレーキユニット、シリンダーのオーバーホールを実施

平成 27 年度： 第 1、第 2 ペアリフトの原動継手用 V ベルト交換

平成 28 年度： 第 2 リフトワイヤーロープ交換を実施

平成 29 年度： 第 3 ペアリフトの制動装置、油圧緊張ユニットのオーバーホールを実施

平成 30 年度： 第 3 ペアリフトの原動機、減速機、滑車軸、のオーバーホールを実施

令和元年度： 第 1 ペアリフト緊張設備及び制動装置のオーバーホールを実施

令和 2 年度： 第 3 ペアリフト索受け装置整備および折返し滑車整備を実施

令和 3 年度： 第 2 ペアリフト索受け装置整備及びセーフティバー設置工事を実施

令和 4 年度： 第 2 ペアリフト索受け装置整備を実施

令和 5 年度： 第 2 ペアリフト制御装置及び山麓監視施設を更新

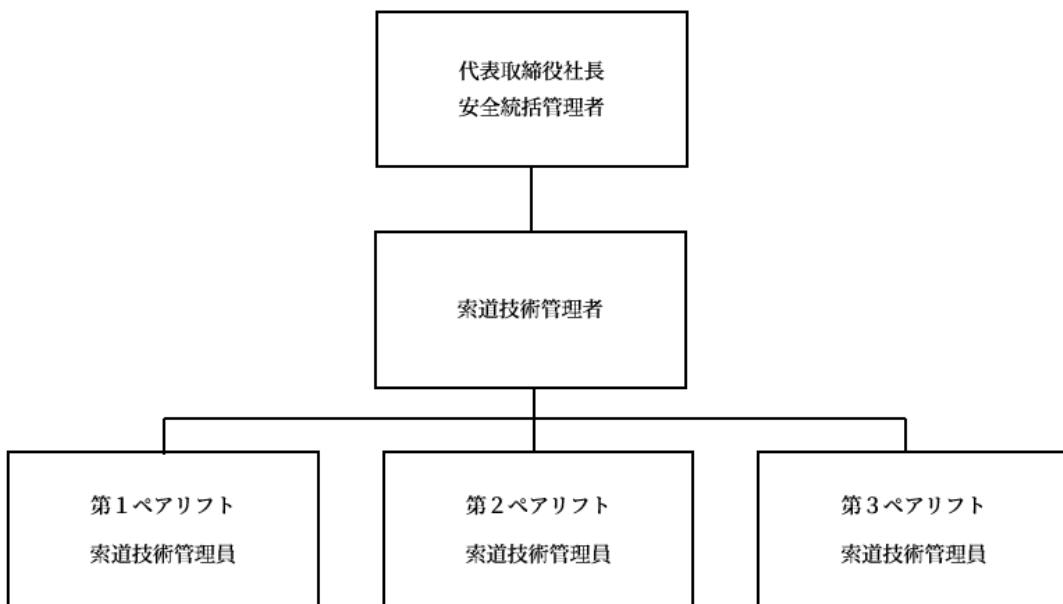
令和 6 年度： 第一ペアリフト第 2 ペアリフト索受け装置整備を実施

冬期シーズン前、従業員によるミーティング及び索道教育・救助訓練



## 5. 施設の安全管理体制

社長をトップする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。また、平成 20 年度からヒヤリ・ハット報告書制度を導入し、日々の業務に反映させております。





## 6. 利用者の皆様の連携とお願い

### (1) 「お客様の声をかたちにしています」

より安全で、信頼される索道をつくる為、皆様からお寄せ戴いた声を役立てています。

### (2) リフト乗車時の注意事項

- ①乗り慣れないお客様は、係員にその旨を申し出てください。
- ②空き缶、煙草の吸殻、その他の物品を乗車中のリフトから投げ捨てないで下さい。
- ③搬器から飛び降りたり揺らしたりしないで下さい。
- ④衣服、携帯品、髪の毛などが、搬器に巻きつかないよう注意して下さい。
- ⑤乗降時は係員の指示に従って下さい。

«お問合せ・ご意見はこちらまで»

〒377-1412 群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢 2032-16

鹿島軽井沢リゾート株式会社（鹿島建設グループ）

TEL : 0279-84-1227 FAX : 0279-84-1229

MAIL : [info.anahirkaruizawa@ihg.com](mailto:info.anahirkaruizawa@ihg.com)